

樽商大出身 阪神・早川投手プロ初勝利

小樽商科大出身で、プロ野球・阪神の早川太貴投手(25)が、27日の横浜DeNA戦でプロ初先発初勝利を挙げた。同大出身では初のプロ選手となった早川投手の活躍に、恩師や後輩から喜びの声が上がった。

同大野球部の鈴木靖生監督(53)は、テレビで教え子の力投を見つめた。「夢のようだった。1軍で一生懸命投げる姿が、本当に誇らしかった」。大学時代の姿を重ね、感慨に浸った。

早川投手は江別市出身。大森高校から小樽商大に進学。入部時は「良い投手だな、というぐらいの印象だった」と鈴木監督。1年時から試合に出たが、直球の球速は130キロ程度だった。

その直球の最速は、3年後に147キロになる。鈴木監督によると、早川投手は淡々と練習に取り組むタイプで、トレーニングも自ら研究。「やるべきことをやる。すごいペースで成長していった」。4年時には「上のレベルでプレーしたい」と監督に伝えたという。

卒業後は北広島市役所に就職し、社会人チームに所属。昨年のドラフト会議で、阪神

「夢のよう、誇らしい」

恩師ら喜びの声

に育成選手として指名を受け、今年7月に支配下登録された。8月27日の登板は1軍2試合目で、5回無失点と好投した。

後輩も刺激を受けた。小樽商大野球部の3年、長尾太陽主将は「同じ環境で練習した先輩がプロで投げているのを見て、本当にすごいな」と。現在、同大は札幌六大学の秋季2部リーグ戦の真ただただ中。「自分たちも頑張っていていく」と力強く語った。

(喜代吉健介)



プロ初勝利を挙げ、ポーズをとる阪神・早川投手＝横浜